

デモプログラムの使い方

二段 JAN コードを読み、数量を入力

概要

先頭が 21 または 29 の JAN バーコードを読み、続けて数量を入力します。メモリには以下のようにデータが保存されます。先頭が 21 または 29 以外のバーコードを読んでもメモリには保存されません。先頭が 29 のバーコードを読んだ後で先頭が 21 のバーコードを読んだ場合でも、以下の順でメモリに保存されます。数量の最大値は 999 です。

```
21xxxxxxxxxxxx,29xxxxxxxxxxxx,xxx
```

データは、HTDATA.TXT という名前のファイルに保存され、MultiEj プログラムを使用して PC にコピーすることができます。

起動

電源を入れると前回終了した続きを実行する(レジューム)ように設定してあります。

アプリケーション実行中

MENU -> 0: メインメニューに戻る

```
HT580 V2.05
1. SETTING
2. TERMINAL
3. RUN EASYJOB
```

3 を選択し、Scan キーを押すとアプリケーションの起動画面が出ます。

MENU -> 4: アプリケーションの先頭画面に戻る

二段 JAN-数量
V 1.00

Unitech Japan

何かキーを押します。

データ収集画面が現れます。

最初カーソルは二行目の先頭にあります。

最初のバーコードを読み取ります。

JAN:
2112345684557

JAN コードを読むと三行目の先頭にカーソルが来ます。

カーソルが三行目の先頭に来ます。JAN コードを読みます。

JAN:
2112345684557
2921236547825
数量: ____

先頭が 29 のバーコードを先に読んだ場合、先頭が 21 のバーコードを読んだ後で二行目と三行目の表示が入れ替わります。

続いて数量を入力します。数量を入力した後は、ESC キーを押して下さい。

(ESC キーと ENTER キーを入れ替える様に設定しています。)

これを繰り返します。

MENU -> 4 を押すと終了します。

PC と接続してデータをダウンロードします。

HT580 には HTDATA.txt という名のファイルができます。

ファイルを消去したい場合は、MultiEJ プログラムを使用して下さい。